



# 尾久西だより

荒川区立尾久西小学校  
発行日 平成30年7月1日  
発行者 校長 末永 寿宣

No. 328 7月号

## 尾久西小学校の校庭全面芝生 ～子どもたちの心の育成をめざして～

校長 末永 寿宣

**歴史** 本校の芝生は、平成17年（2005年）に「校庭全面芝生化」としてスタートしました。創立95周年を迎えた本年は、13年目となります。これまで、年間を通じて緑あふれる天然芝生の校庭を維持するために、たくさんの方々のご努力がありました。様々苦勞は絶えなかったと思いますが、子どもたちが校庭で心を開放し、気持ちよさそうに遊ぶ姿を見ると、その苦勞も忘れてしまいます。

**現在** 芝生を育てるには、年間2回「芝生養生」が必要です。この間、子どもたちは芝生の校庭で遊ぶことが制限されていました。大好きな校庭で遊べないことは、大変残念ですが、芝生を維持するには必要なことです。そこで、子どもたちの遊び場を保証するため、養生期間や時期を見直し、春休みと夏休みに限定し、次のようなサイクルを確立しました。

前期養生＝3月末（修了式翌日）～4月末（連休まで）

→冬芝の種蒔き：全面にシートをかぶせます。

後期養生＝7月末（終業式翌日）～8月末（夏休み終了まで）

→夏芝の種蒔き：周りをロープで囲います。

この期間以外は土日も含めて全面開放しています。体育の時間はもちろん、休み時間は子どもたちが気持ちよく思いっきり遊んでいます。

**未来** 今年から夏芝の種「バミューダ」に「ティフトン苗」を加えて、生育状況を観察します。「ティフトン苗」は、横に伸びる力が旺盛で、葉が柔らかくキメが細かいのが特徴です。また、暑さや擦り切れ、踏圧に強い芝であることから、子どもたちの激しい運動量を支える芝として適していると考えました。

1年生76名全員にビニールポットでティフトン苗を育ててもらい、芝生の植え付けも経験してもらう予定です。

「子どもによる子どものための校庭全面芝生」を合言葉に、創立100周年までの5年間で、さらに充実させていきます。

尾久西小学校の財産である「校庭全面芝生」を教育活動に活用し、子どもたちの心を育てるため、努力してまいります。保護者・地域の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、これからもご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



▲芝生業者の施工により、冬芝と夏芝を交互に育てています。使用頻度が高い箇所は、どうしても芝が剥けてしまいます。



▲定期的な芝刈りは、用務主事さんが請け負ってくれています。広大な校庭の全面を刈るのは相当な労働です。いつもありがとうございます。



▲休み時間、芝生の校庭は子どもたちでいっぱいです。芝生は柔らかいため、転んでも大きなけがには至りません。夏は涼しく、子どもたちは芝生の校庭で遊ぶのが大好きです。